平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名　パウダーテック株式会社　　上場取引所　大
コード番号　5695　URL　http://www.powder-tech.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 隅田　洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長　(氏名) 徳重　秀人　TEL 04-7145-5751

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,439	5.7	351	13.6	342	15.3	195	15.5
23年3月期第1四半期	2,307	26.2	309	―	296	―	169	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　201百万円　(14.6%)　23年3月期第1四半期　175百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	13.19	―
23年3月期第1四半期	11.42	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,541	5,864	61.5
23年3月期	9,444	5,811	61.5

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　5,864百万円　23年3月期　5,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	10.00	10.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成24年3月期の期末の配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	―	―	―	―	―	―	―	―	―
通期	―	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
今後の電力供給状況が不透明なため、本決算短信発表時点で平成24年3月期の業績予想を開示することが困難であります。当該業績予想は開示が可能となった時点で開示する予定です。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	14,850,000 株	23年3月期	14,850,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	22,494 株	23年3月期	22,294 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	14,827,506 株	23年3月期1Q	14,832,708 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における国内経済は、サプライチェーンに深刻な被害をもたらした東日本大震災の影響や資源価格の上昇により、依然として景気の先行きへの不透明感が払拭できない状況で推移いたしました。

当社グループの主力製品である電子写真用キャリアの用途は、オフィス用複写機・プリンターの現像剤向けですが、お客様での震災直後に発生した減産分の挽回と、夏期の電力規制を見越した前倒し需要も加わり、キャリアの需要は高いレベルで推移いたしました。

脱酸素剤関連製品は震災による消費低迷などの影響を受けましたが、鉄粉関連製品は震災後のカイロ需要等によるお客様の増産などから好調に推移しました。これらにより当第１四半期の売上高は前年同期比5.7%増加の2,439百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の増販益により、連結営業利益は351百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

連結経常利益は為替差損の減少等により342百万円（前年同期比15.3%増）となり、連結四半期純利益は195百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①キャリア事業

当セグメントにおきましては、お客様の注文に迅速に応えるべく高レベルの操業を続けました結果、売上高は1,828百万円（前年同期比7.1%増）となりました。セグメント利益は増販益などにより427百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

②鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品は震災に伴う消費低迷などにより減販となりましたが、震災に伴うカイロ用鉄粉の需要増加により、売上高は611百万円（前年同期比1.8%増）となりました。セグメント利益は生産物流改善等のコストダウンに引き続き努めましたが、脱酸素剤関連製品の減販損が影響し29百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

なお、当第１四半期連結会計期間から、組織変更により報告セグメントを変更しておりますが、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した数値に基づき、前年同期との比較分析を行っております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、その他流動資産（預け金）は減少しましたが、売上増に伴う受取手形及び売掛金の増加により、146百万円増加いたしました。固定資産は、キャリア製品製造設備等の設備投資を行いましたが、減価償却費発生金額が設備投資金額を上回りましたので、49百万円減少いたしました。以上により、総資産は97百万円増加し9,541百万円となりました。

負債は、未払法人税等が減少しましたが、短期借入金、支払手形及び買掛金、未払消費税等が増加しましたので、44百万円増加し3,676百万円となりました。借入金は前連結会計年度末に比べ200百万円増加し400百万円となっております。

純資産は、利益剰余金の増加により、52百万円増加し5,864百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末と変わらず61.5％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想（第２四半期累計期間及び通期）につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、決算短信発表時点（平成23年5月11日）では開示することが困難としておりましたが、現時点におきましても今後の電力供給制限の販売見込に及ぼす影響が不透明なため、当該業績予想は開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	360,731	306,081
受取手形及び売掛金	1,102,222	1,389,066
商品及び製品	906,557	886,591
仕掛品	869,179	873,216
原材料及び貯蔵品	313,795	324,761
繰延税金資産	159,320	160,688
その他	468,159	383,002
貸倒引当金	△4,300	△869
流動資産合計	4,175,665	4,322,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,445,422	3,445,422
減価償却累計額	△2,204,848	△2,228,824
建物及び構築物（純額）	1,240,574	1,216,598
機械装置及び運搬具	6,014,117	5,982,859
減価償却累計額	△4,872,474	△4,945,442
機械装置及び運搬具（純額）	1,141,642	1,037,417
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	1,572,416	1,630,618
減価償却累計額	△993,520	△1,034,846
リース資産（純額）	578,896	595,771
建設仮勘定	165,135	224,000
その他	331,967	338,354
減価償却累計額	△291,761	△295,170
その他（純額）	40,205	43,184
有形固定資産合計	5,026,653	4,977,170
無形固定資産		
その他	1,865	1,865
無形固定資産合計	1,865	1,865
投資その他の資産		
投資有価証券	14,878	14,936
繰延税金資産	195,771	195,725
その他	36,428	36,212
貸倒引当金	△6,818	△6,818
投資その他の資産合計	240,260	240,055
固定資産合計	5,268,778	5,219,091
資産合計	9,444,443	9,541,631

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	986,103	1,105,338
短期借入金	200,000	400,000
リース債務	141,792	144,707
未払金	524,084	451,282
未払法人税等	461,827	147,098
未払事業所税	16,942	4,149
未払消費税等	6,252	38,977
賞与引当金	178,386	90,736
役員賞与引当金	24,000	－
その他	168,076	361,262
流動負債合計	2,707,465	2,743,553
固定負債		
リース債務	437,103	453,989
退職給付引当金	418,836	428,899
役員退職慰労引当金	63,264	44,443
環境対策引当金	5,900	5,900
固定負債合計	925,103	933,232
負債合計	3,632,569	3,676,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	2,704,231	2,751,470
自己株式	△6,074	△6,120
株主資本合計	5,821,157	5,868,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△515	△480
為替換算調整勘定	△8,767	△3,023
その他の包括利益累計額合計	△9,282	△3,503
純資産合計	5,811,874	5,864,845
負債純資産合計	9,444,443	9,541,631

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	2,307,363	2,439,560
売上原価	1,697,337	1,786,864
売上総利益	610,026	652,696
販売費及び一般管理費	300,321	300,886
営業利益	309,704	351,810
営業外収益		
受取利息	2,532	963
助成金収入	－	1,100
その他	2,336	2,806
営業外収益合計	4,868	4,870
営業外費用		
支払利息	1,769	1,507
為替差損	10,047	6,756
債権売却損	5,369	5,443
その他	529	660
営業外費用合計	17,715	14,367
経常利益	296,858	342,312
特別損失		
有形固定資産除却損	4,812	5,441
特別損失合計	4,812	5,441
税金等調整前四半期純利益	292,045	336,870
法人税等	122,724	141,355
少数株主損益調整前四半期純利益	169,321	195,515
四半期純利益	169,321	195,515

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	169,321	195,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△577	34
為替換算調整勘定	6,971	5,744
その他の包括利益合計	6,393	5,778
四半期包括利益	175,714	201,294
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,714	201,294

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

該当事項はありません。

（４）セグメント情報

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	脱酸素剤事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	1,706,817	228,765	371,780	2,307,363	―	2,307,363
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	13,248	―	13,248	△13,248	―
計	1,706,817	242,013	371,780	2,320,611	△13,248	2,307,363
セグメント利益	354,157	13,458	29,984	397,599	△87,895	309,704

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△87,895千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,349千円及び棚卸資産の調整額△546千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	1,828,265	611,294	2,439,560	―	2,439,560
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	1,828,265	611,294	2,439,560	―	2,439,560
セグメント利益	427,767	29,061	456,828	△105,018	351,810

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△105,018千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△103,982千円及び棚卸資産の調整額△1,036千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．　報告セグメントごとの変更等に関する事項

前連結会計年度まで、「キャリア事業」、「鉄粉事業」、「脱酸素剤事業」の３つを報告セグメントとしておりましたが、「鉄粉事業」と「脱酸素剤事業」について、平成23年４月１日付で両部門を「鉄粉事業部」として統合し、鉄粉の調達、加工、販売を一貫して行うとともに、人員及び業務の再配分による業務の効率化と技術・人材面でのシナジー効果による研究開発の効率化を図る体制に組織変更いたしました。

したがって、当第１四半期連結会計期間より、「キャリア事業」、「鉄粉事業」の２つを報告セグメントとしております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は次のとおりであります。

前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	1,706,817	600,546	2,307,363	―	2,307,363
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	1,706,817	600,546	2,307,363	―	2,307,363
セグメント利益	354,157	43,442	397,599	△87,895	309,704

（注）１．調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額△87,895千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,349千円及び棚卸資産の調整額△546千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損益又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

該当事項はありません。